

2010年度

科目名	日本文学を読むA		
担当教員	鈴木 利一		
配当	文 1・教育1・人間1	コード	14130
開期	前期	講時	月曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	古代の神話・説話・物語を読む。		
目的と概要	この講義で扱う日本文学とは、古代日本の神話や説話のことです。これらの作品には、当時の人々の暮らしの様子や世界観が活き活きと描写されています。こうした古代の文学作品を読み進めていく中で、古代日本社会とその文化への新たなイメージを獲得しましょう。そして、古典文学から得られる感動の世界に親しんでみましょう。		
成績評価法	前期末のレポート(50%)に加えて、随時小テスト(30%)を行いますので、その提出状況と日常の学習姿勢等(20%)によって総合的に評価します。		
テキスト	講義時にプリントを配布する。		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	後期開講科目の「日本文学を読むB」と併せての通年受講を推奨します。		
講義計画			
<p>古代神話の世界</p> <p>前期は古事記・日本書紀・風土記に記録される日本神話から、昔話や説話文学にも通じる要素を読み取り、古代文学の基層世界を展望します。また、古事記や日本書紀の物語に付随する歌謡等についても取り上げ、読んでいきます。取り上げる神話は、以下の予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 天地創世(第1回) 2. オノゴロジマと国生み神話(第2回) 3. イザナキの黄泉国訪問(第3回) 4. 流浪するスサノヲ(第4、5回) 5. 因幡の白ウサギとオオクニヌシの求婚(第6回) 6. オオクニヌシの国作り(第7回) 7. 海幸と山幸(第8回) 8. 蘇民将来と茅輪、祇園信仰(第9回) 9. 三輪山神話と箸墓伝承(第10回) 10. アメノヒボコの渡来(第11回) 11. ヤマトタケル(第12回) 12. 天女の羽衣(第13回) 13. 相撲の起源(第14回) 14. 殉死と埴輪の起源(第15回) <p>講義の性格上、作品を理解するために、時代背景や神社、仏閣、史蹟等の話題が多くなります。また、同じ理由で旧暦に由来する年中行事や祭礼等に関する知識も必要になります。各講義のはじめに、そうした古典文学に関連する周辺事項の解説や参考書籍等の紹介も行い、より深い作品理解への到達を目指します。</p>			